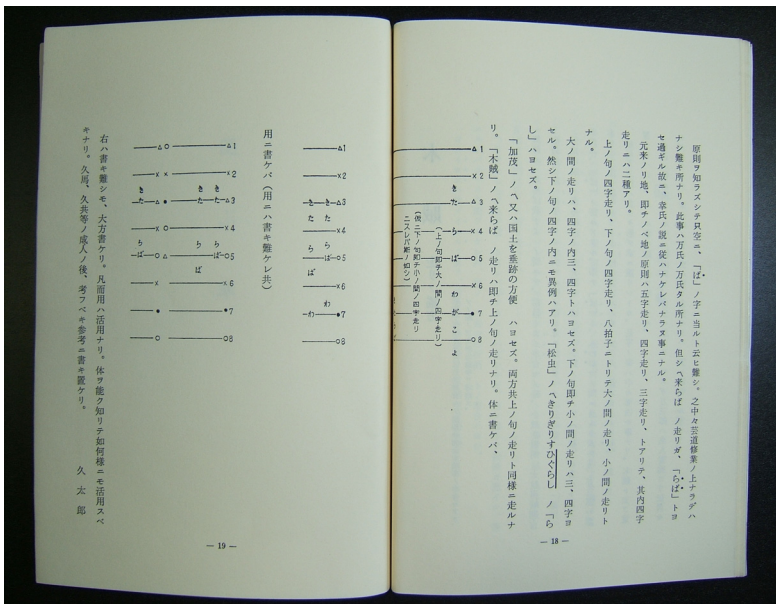
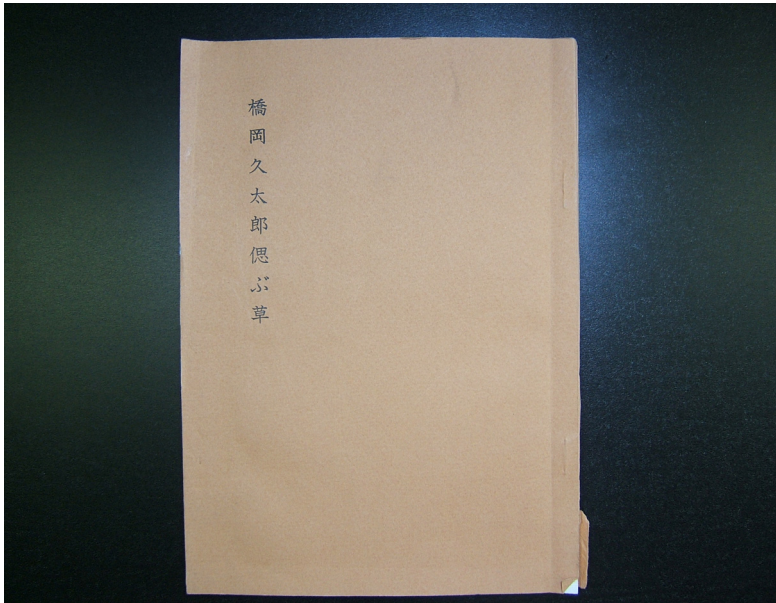


榎本芳枝、丸岡大二、今井欣三郎 『橋岡久太郎偲ぶ草』

本書前半の久太郎遺文は、雨月、経政、清経、熊野、葵上、砧、木賊の演出メモである。写真下は木賊の一部分で、大ノリの走りの謡い方のバリエーションに言及した部分。この説明の中に、「体二書」「用二書」という表現が見られるが、これは大正末期、観世流の下田益三が、山崎楽堂の地拍子研究批判をおこなう際に持ち出した二分法であり、京観世岩井派で大切にされている言説だったことが伺える。本書後半は、近縁者によって久太郎の思い出がつけられている。巻末に橋岡久太郎年譜。



標題 内題…

標題紙…橋岡久太郎偲ぶ草

奥附…

その他…橋岡久太郎偲ぶ草(表紙・目次)

著者 奥附…

その他の場所…榎本芳枝、丸岡大二、今

井欣三郎(あとがき)

出版 版次…第一版

出版地…

出版社…榎本芳枝、丸岡大二、今井欣三

郎

出版年…

その他の場所…あとがき 昭和41(1966)

形態 冊数…一冊 頁数…三八頁

寸法…21×15 (cm)

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

備考